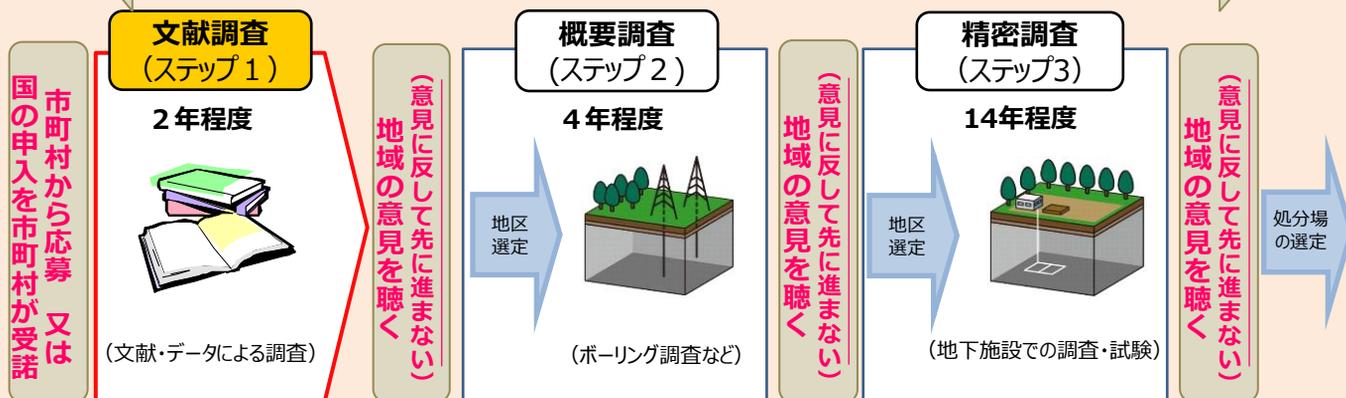


## 【ポイント①：地域のご意見に反して先に進みません】

- ✓ 処分場選定までは、3つの段階に分けて調査を行い、そのつど、安全な地層処分が可能かどうかを評価しながら、建設地を絞り込んでいきます。
- ✓ 次段階の調査に進もうとする場合には、都道府県知事と市町村長のご意見を聴き、これを十分尊重することとしており、都道府県知事又は市町村長のご意見に反して先に進みません。
- ✓ 調査期間中、放射性廃棄物は一切持ち込みません。

### 《処分場選定プロセス》

20年程度の調査期間中、放射性廃棄物は一切持ち込まない



Q. 一度、調査を受け入れてしまうと、途中で断れず、もし断ったら国からペナルティがあるのでは？

A. 地域のご意見に反して処分場選定プロセスを進めることはありません。 また、次の調査に進まなくても、それを理由に、ペナルティのようなものは一切発生しません。



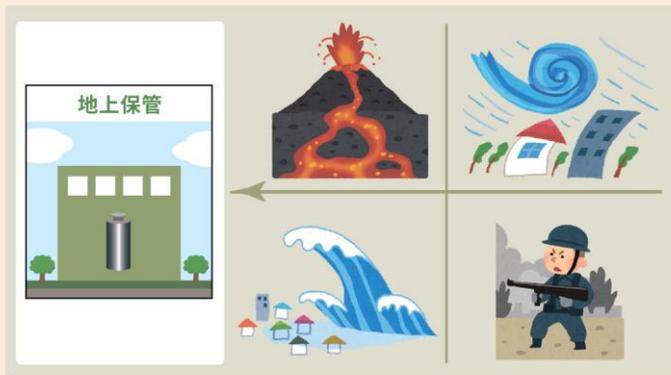
Q. 文献調査を受け入れることで、風評被害が発生してしまうのでは？

A. 20年程度の調査期間中は、放射性廃棄物が持ち込まれることはなく、放射能の影響が及ぶことはありません。  
2020年に文献調査を開始した北海道の2町村でも、具体的な風評被害の声は寄せられていない状況です。



## 【ポイント②：地層処分の安全性は世界的に認められています】

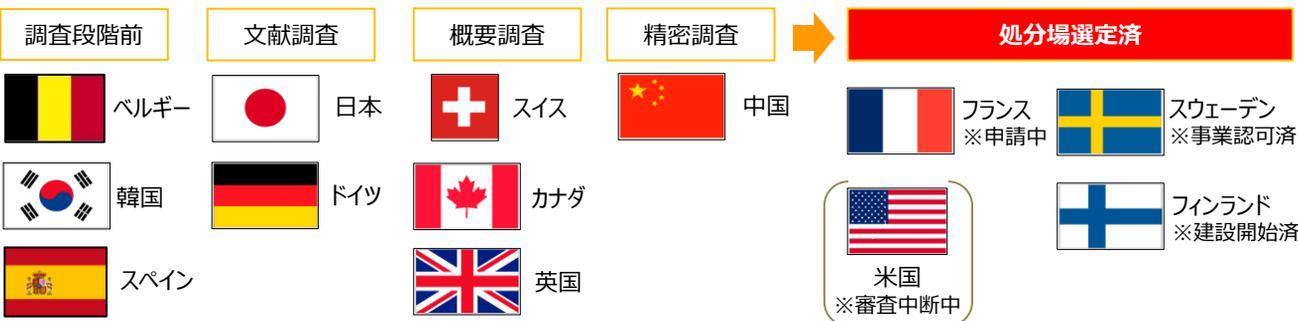
- ✓ 放射性廃棄物は、放射能の影響を考慮し、**長期にわたって人間の生活環境から適切に隔離する必要があります。**
- ✓ 地上で保管を続けるよりも、**地下深くに適切に埋設する方が、安全上のリスクを小さくし、かつ、将来世代の負担を小さくすることができます。**



地下よりも地上の方が、自然災害やテロなどの影響を受けやすい

- ✓ また、**原子力を利用するすべての国では、原子力発電所で使い終わった燃料を安全に地層処分する方針**です。
- ✓ 国によって進み方は違いますが、それぞれの国では地域との**対話を重ねながら処分場の建設を目指して事業を進めています。**

### 諸外国の状況



Q. 地層処分は、安全な処分方法なのですか？

A. 地層処分は、**地下深くの安定した岩盤に閉じ込め、人間の生活環境や地上の自然環境から隔離する処分方法**です。  
 これらは、原子力を利用してきた世界各国が検討した結果、**技術的にも確立された安全な処分方法で、海外では処分場の建設も始まっています。**

